



## 主要な農作物の生育情報

平成25年度 第4号

(平成25年7月19日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【水 稲】

7月9日現在の農業総合センターの生育調査では、草丈は全域で平年より長く、茎数はややばらつきがでています。特に浜地域研究所のコシヒカリが平年よりやや少ない状況です。また、葉齢は平年より進んでおり、葉色はやや濃く生育しています（会津地域研究所の葉色は除く）。

表1 水稻の生育状況（※）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	7月9日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	主稈葉齢	葉色
本 部	コシヒカリ	5.15	60.6 (104%)	699 (101%)	10.4 (+0.2)	33.9 (+1.6)
	ひとめぼれ	5.15	47.0 (106%)	668 (91%)	10.5 (+0.2)	36.4 (+0.8)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	66.1 (130%)	620 (86%)	10.6 (+0.7)	36.4 (+0.1)
	ひとめぼれ	5.10	65.2 (130%)	703 (102%)	10.7 (+0.6)	39.7 (+1.1)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.20	68.3 (108%)	633 (98%)	11.5 (+1.0)	31.1 (-2.2)
	ひとめぼれ	5.20	62.8 (103%)	679 (93%)	11.4 (+0.9)	33.1 (-3.0)

※ 調査：農業総合センター本部（郡山）、浜地域研究所（相馬）、会津地域研究所（会津坂下）  
（ ）内の数字は、本部と会津地域においては平年比較値を、浜地域においては前年比較値を示す。

### 【野 菜】

#### 1 夏秋きゅうり

5月下旬定植の露地栽培は、一部地域でアザミウマ類が発生しているものの、適度な降雨にも恵まれて平年並みに生育しています。収穫は6月下旬から始まり、今後は本格的な出荷が見込まれています。

#### 2 夏秋トマト

4月上旬定植の夏秋栽培は、平年並みに生育しており現在8～9段果房開花、3～4段果房を収穫中です。生育初期の低温の影響で1～2段果房に障害果が発生しましたが、現在は形状の良いトマトが収穫されています。一部地域で灰色かび病が発生しています。

#### 3 サヤインゲン

5月下旬定植の露地栽培は、平年並みの6月下旬より収穫が始まりました。7月上旬の高温により一時生育が停滞しましたが、現在は順調に生育しています。今後は6月上旬定植の作型において、1番成り収穫のピークを迎える見込みです。

#### 4 夏秋ピーマン

5月上旬定植のトンネル栽培は、平年並みに6月中旬から収穫が始まりました。乾燥の影響により、低節位に尻腐果が発生しましたが、現在は順調に生育しています。

#### 5 夏秋ナス

5月中旬定植の露地栽培は、平年並みの6月下旬から収穫が始まりました。今後本格的な収穫が開始される見込みです。

### 【果 樹】（7月15日現在：農業総合センター果樹研究所）

#### 1 モ モ

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が56.7mmで平年比103%、側径が59.2 mmで平

年比104%、「ゆうぞら」は縦径が50.4mmで平年比103%、側径が45.7mmで平年比102%と、両品種共に平年よりやや大きい状況です。

「あかつき」の収穫予測では、収穫開始は8月2日、収穫盛りは8月6日で共に平年並と予測されます。

## 2 ナシ

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が41.7mmで平年比107%、横径が52.3mmで平年比112%、「豊水」は縦径が41.7mmで平年比104%、横径が46.9mmで平年比108%と、両品種共に平年より大きい状況です。

「幸水」の収穫予測では、収穫盛期が8月30日頃で平年より3日早いと予測されます。

## 3 リンゴ

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が61.4mmで平年比107%、横径が70.4mmで平年比108%と平年より大きく、「ふじ」は縦径が51.6mmで平年比101%、横径が56.9mmで平年比103%とほぼ平年並の状況です。

## 【花き】

### 1 キク類

8月咲き露地栽培の小ギクや輪ギクは、草丈や節数がほぼ平年並みに確保され、お盆に向けて出荷される見込みです。

### 2 リンドウ

新盆向けの極早生品種の出荷は、6月下旬から順調に出荷を開始しています。早生品種の生育は、ほぼ前年並みの草丈で、7月下旬からの出荷となる見込みです。

### 3 シュッコンカスミソウ

6月咲きは品種の切り替えと春先の低温のため、出荷が平年より1週間程度遅くなりましたが、7月咲きは順調に出荷されており、今月下旬に出荷のピークを向かえる見込みです。

### 4 トルコギキョウ

会津地方の無加温促成栽培は、ほぼ平年並みに7月中旬が出荷のピークとなる見込みです。また、季咲きの作型では、7月下旬から計画通りに出荷される見込みです。

## 【飼料作物】

### 1 牧草

1番草は、平坦部では5月下旬から、山間部では6月上旬から収穫期となり、収穫作業が行われました。収量は平年並みとなっています。

2番草は、1番草の刈り取りが平年よりやや遅れたことから、草丈の短い地域も見られますが、平坦部では7月中旬、山間部では7月下旬に収穫期となる見込みです。

### 2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、5月上旬から播種作業が行われ、現在8葉期前後で、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

[http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/contents?CONTENTS\\_ID=11224](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224)